

サトリの
ココロ

多くの人が孤立感、生きにくさを感じる今、
仏教に興味を持つ人が増えています。
僧侶に聞く、弱い自分と向き合う方法——

日蓮宗本光寺住職
尾藤宏明さん

第33回

現代は自死者が3万人を超えるといわれています。これは宗教やお寺がきちんと機能していないということ。このままではいけない、お寺のこともっともつと伝えていかなければ、悩み苦しむ人に手を差し伸べることができない……そう考えた私は2010年、お寺の動画CMを作りました。そもそもお寺は悲しみの場所というイメージがあり、社会の中で孤立してしまっています。でも本来は仏様に手を合わせ、悩みがすべて解決しなくてもすっきりして笑顔で帰ってもらう場所のはず。

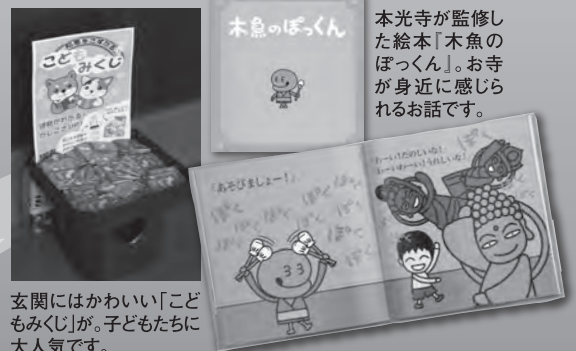
お寺は笑顔になれる場所……動画はそんなイメージで作りました。このCMは動画サイトで話題になりました。お叱りもいただきましたが、CMを見て自殺を思いとどまったという若者も。一人の命が救えたことが励みとなりました。

子育ては大変！ だから 子育て家庭を応援したい

私には5歳、3歳、2歳の3人の娘がいます。子どもを育てるということは、男の私から見ると簡単そうでしたが、実際やってみるととてもむずかしく、苦しいことでした。お寺にも子育ての悩みを抱えたお母さんたちがやって来ます。お寺でも何か手助けができれば……そう思っていたとき、市川市で子育て応援の企業を募集していることを知りました。応募してみると第1号として認定され、その後、松戸市や千葉県の子育て応援にも登録しました。

まずは、お寺に来られる子連れの方のために、授乳スペースやおむつ替えスペースを提供したり、ミルク用のお湯を用意することからスタート。昨年11月の「家族週間」には、普段お寺で開催している教室のうち「仏画」「仏像彫刻」「写経」の3つを子ども向けにアレンジし、たくさんのご家族に楽しんでいただきました。私もお母さんやお父さんとコミュニケーションを取ることで、子育て中の気持ち理解できました。これからもお

本光寺が監修した絵本「木魚のぼっくん」。お寺が身近に感じられるお話です。



玄関にはかわいい「ごどもみくじ」が。子どもたちに大人気です。

寺で子育て家庭を応援したいければ、と想っています。

お寺や神社好きの男女を結ぶ 「寺社コン」で婚活サポート

実は私の寺では「寺社コン」も行っているんです。お寺や神社で合コン＝寺社コン。年に4回ほど開催しています。例えば「写経コン」。本堂でお参りした後に写経をする、という合コンです(笑)。夏には「浴衣の着付けコン」。着付けを体験しながらの合コンです。お陰様で男女ともに多数の応募があり、縁結びのサポートができることに喜びを感じています。

このように新しいことを発信するのも、これからのお寺の役目であると感じます。こうした活動をきっかけに、本光寺だけでなく日本中のお寺に足を運んでいただければ、と願っています。

お寺は笑顔になれる場所。
一度足を運んでみてください

びとう・こうめい 1972年生まれ、東京都出身。11～12歳のときに池上本門寺にて修行を行い、13歳で得度。1993年、20歳のときに約650年の歴史を持つ本光寺の第35世住職に就任する。1995年、立正大学仏教学部卒業。2010年より子育て応援活動をスタートし、厚生労働省、千葉県、市川市、松戸市に子育て応援の登録済み。http://www.honkouji.com